

平成28年度 自己点検・評価

5:十分 3:普通 1:不十分

学校法人 古沢学園 広島製菓専門学校

領域		点検項目	評価項目	自己評価	評価の観点・検証の資料例
I 教育目標	1, 学園理念 2, 教育方針 3, 教育目標 4, 教育計画	○ 学園理念 ○ 教育方針 ○ 学則 ○ 教育目標 ○ 教育計画	1 学園理念は時代の変化に対しても有効・適切である。 (表現・文言は適切であるか)	4.2	○ 学園経営方針・長期計画書 ○ 学園理念 ○ 教育方針 ○ 業務方針 ○ 教育計画 ○ 学園沿革の概要 ○ 学則 ○ 学生心得
			2 教育目標や教育計画は建学の精神や教育方針に基づき、社会的要請や学生の状態に応じたものになっている。	4	
			3 教育目標や教育計画はその達成の程度を評価するP-D-C (計画-実施-評価)システムが確立している。	3.1	
II 教 育 活 動	1, 教育課程の編成 及び実施 (1)教育課程の編成	○ 学則 ○ 教育課程 ○ 教育計画	4 教育課程の編成にあたっては基本的な方針が示され教員の意見が集約されている。	2.9	○ 学則 ○ 教育計画 ○ 就職先など外部の要望 ○ 国家試験・資格・検定試験の取得率 ○ 即戦力・実践力の育成と技術の向上 ○ コミュニケーション・待遇力の育成 ○ 教育計画(年間行事計画) ○ 年間行事計画 ○ 月別又は週別時間割 ○ シラバス集 ○ コマシラバス集 ○ 確認テスト集 ○ 定期試験集 ○ 教材の精選と教材研究 ○ 教育技術の工夫と校内研修 ○ 公開授業及び授業研究報告書 ○ 思考力・判断力・表現力・課題決定能力の育成状況 ○ 特別指導(補習) ○ 学生による授業アンケート結果報告 ○ 各種ガイダンス実施計画、実施状況報告
			5 教育課程の編成にあたっては法律が遵守され、教育目標や学校課題が反映されている。	3.4	
			6 教育の編成にあたっては社会や就職先の要望への対応、社会情勢の変化に柔軟に対応している。	3.5	
			7 教育課程の編成にあたっては専門科目と基礎科目等との関連や科目の系統性・関連性が十分に配慮されている。	3	
	(2)教育課程の実施	○ 教育計画 ○ 時間割り	8 授業科目の学年進行や時間配分は適切に行われている。	3.2	
			9 職員の受持ち時間は過重にならないようにほぼ平均化されており、学期による偏りもほどよく調整されている。	2.8	
			10 クラスサイズ(授業人数)は基準どおりであり、授業形態に少人数指導、習熟度別指導が導入されている。	3.4	
			11 2学期制は教育活動に合致しており、長期休業や授業計画・各種行事と連動して機能している。	3.4	
	(3)シラバス	○ シラバス集 ○ コマシラバス集 ○ 確認テスト集 ○ 定期試験集	12 シラバス(授業計画)が年度当初に全ての科目で作成され学生に配布されて、年間学習指導計画を明示している。	2.4	
			13 シラバス作成にあたっては、教科担当者間や学科内で十分に検討され、その精度や専門性・整合性が高い。	3	
			14 コマシラバスが、確認テスト・定期試験と密接に連動しており、コマシラバス・確認テストは毎時間活用されている。	2.9	
	(4)学習指導	○ 公開授業及び 授業研究実施報告 ○ 学生による授業アンケート ○ 各種ガイダンス実施計画と 実施状況報告 ○ 教育課程(一般教養・基礎科目) ○ 学外実習・実施報告書	15 教員は「わかる授業」の実践を目指して授業技術の向上に努めるとともに専門性を高めるための努力をしている。	3.9	
			16 学習の遅れがちな学生や長期欠席を対象とした特別指導が行われている。	3.5	
			17 学生に対する各種ガイダンスが充実している。	3.2	
			18 学生の授業や学校生活への満足度が高い。	3.5	

				3.0	○ シラバス ○ レポート
			19 演習・実習・実技が計画どおり実施され成果をあげている。	3.3	
			20 インターシップ(職場実習)が教育課程に位置づけられ、計画的・組織的に実施されている。	3.7	
			21 大学等他校との学校間の連携による単位互換制度が確立・機能している。	2	
II 教 育 活 動	(5) 成績・評価	○ 出席簿 ○ 成績一覧表 ○ 期末試験問題	22 成績評価の基準が明確で事前に学生に示されており、総合的な観点から公平・客観的に評価が行われている。	3.5	○ 学則(試験、評価、認定) ○ 学生心得(教務規程) ○ 出席簿 ○ 期末試験問題 ○ 成績一覧表 ○ 成績判定会議資料 ○ 学業成績証明書 ○ 教科書一覧 ○ 教育機器・教材一覧 ○ オリジナルテキスト ○ 各種プリント・補助教材 ○ 練習問題 ○ 各実習場の設備、備品、機器、テスター
			23 学生の出席状況の管理が適正に行われており、遅刻・欠席の多い学生に対する適切な指導が行われている。	4.5	
			24 学力測定(テスト)や評価が客観性・妥当性・信頼性を満たしており、進級・卒業のために公正な評価が行われ、成績判定会議は有効・適切に機能している。	4	
	(6) 教科書・教材 施設設備	○ 教科書一覧表 ○ 教育機器・教材一覧 ○ 施設設備一覧	25 教科書、テキスト類の選定は適切に行われており、学生が理解しやすく利用しやすいものが選定されている。	3.6	
			26 教具教材、教育機器は効果的に配置・活用されており、保守・管理が適切に行われている。	3.7	
			27 オリジナルテキストや独自のプリント教材、視聴覚教材、手作り教材などを作成、改訂を重ねている。	3	
			28 教育活動を展開するうえで必要な施設設備が整備されており、適切に活用されている。	4.5	
	(7) 資格取得と 検定対策指導	○ 国家試験合格率 ○ 卒業生の学科別各種検定・資格取得状況	29 国家試験や各種資格取得・検定のための対策が計画的・組織的・能力別に行われており、成果をあげている。	4.1	
			30 卒業後、受験資格を得る学生のための卒業後教育が計画的・系統的に実施され成果をあげている。	3.8	
	(8) 進路(就職)指導	○ 卒業生の就職状況(学科別・性別・専門士の授与状況・分野別・地域別就職状況) ○ 就職指導の実施記録 ○ 就職試験受験報告書 ○ 卒業後の追跡調査(定着率・企業の要望等) ○ 企業セミナー実施要領	31 就職のための指導や模擬面接・個人相談が計画的に行われ、成果をあげている。	3.2	
			32 就職のための各種資料や情報が収集・整理され、学生が常時閲覧できる体制になっている。	3.9	
			33 求人開拓や企業開拓が計画的・組織的に行われ就職斡旋活動が円滑に行われている。	3.5	
34 企業説明会等は学生が理解しやすく、就職活動の展開に役立つ内容であり、計画的・組織的に実施されている。			3.5		
(9) 生活指導	○ 学則(褒章・懲戒) ○ 校則(教務規定) ○ 教育計画 ○ カウンセリング実施記録簿 ○ 危機管理委員会の活動状況 ○ 学生の通学状況(距離・時間・	35 学生の授業規律をはじめ、学内外での基本的な生活習慣やマナー、躾教育が行われており成果をあげている。	4.1		
		36 学生の悩みや相談を受ける体制が整っており、その他の時間や場所が確保されている。	3.2		
		37 非行・事故の未然防止や退(怠)学傾向の早期発見体制が整っており、保護者と密接な連携をとるなど、きめ細やかな指導が行われている。	3.6		

(10)健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通手段・費用・運転免許) ○ 学生の生活状況(居住(寮)・住宅費・仕送り・生活費・アルバイト) ○ 学則(健康診断) ○ 教務規程(健康診断) ○ 教育計画(防災計画・避難経路図) 	38 学校生活不適応、学業不振、問題行動、食中毒、伝染病等があった場合、組織的に対応できる体制が整っている。	4.5	○ 危機管理委員会の活動状況		
		39 アルバイトをする学生の実態が掌握されており、学業との両立を図るための適切な助言や指導が行われている。	3.9	○ 保護者面談・連絡記録簿		
		40 健康・安全教育が教育活動に位置付けられ、健康診断、避難訓練、交通安全指導が適切に行われている。	4	○ 企業・施設連携・連絡記録簿		
		41 学校には保健室(休養室)があって学生が利用できる体制が整えられており、緊急搬送先病院が定められている。	3.5	○ アルバイトの実態調査		
				○ 学則(健康診断)		
2, 教員の状況 (1)教員の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常勤教員数(年齢・勤務年数・学歴・採用ルート・平均授業時数) ○ 常勤教員の居住地域(通勤状況・家族状況) 	42 常勤教員の年齢、性別、経験、専門性(所有資格)、指導力はバランスの取れた構成になっている。	3.5	○ 常勤教員数(年齢・勤務年数・学歴・採用ルート・平均授業時数)		
		43 教員は職務の重要性を自覚し、意欲的・積極的に職務を果たそうと努力している。	3.9	○ 常勤教員の居住地域(通勤状況・家族状況)		
		44 教員は学生と望ましい人間関係を醸成し学生の人格を尊重して保護者や社会の信頼と期待に応えるよう努力している。	3.5	○ 授業アンケートの集約結果		
		45 教員は学園の理念や教育方針を体現し、協働体制と職場のモラル(志気)の高揚に努め、経営参加意識を持って学園の発展に寄与しようとしている。	4	○ 教職員のモラル・協働意識の実態		
				○ 経営参加意識・帰属意識の実態		
(2)常勤と非常勤教員の配置状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常勤・非常勤教員の割合(科目数別・授業時間数別) 	46 常勤教員、非常勤教員の構成比率は適切である。	4	○ 常勤・非常勤教員の割合(科目数別・授業時間数別)		
		(3)教員組織・運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常務教員の勤務状況(分掌・委員会所属状況・資格所有状況) ○ 教育計画(校務分掌・組織図) ○ 会議の種類 ○ 学科長の職務内容 ○ 各種委員会組織 ○ 備付表簿 	47 学校・学科が組織として教育活動を遂行しており、教育内容や教育方法の質の向上・改善に結びついている。	3.5	○ 教育計画(校務分掌・組織図) ○ 会議の種類
				48 校務分掌が組織として位置付けられ、全教員が職務を分担して機能している。	3.2	○ 学科長の職務内容 ○ 各種委員会組織と職務内容
				49 諸会議が学校全体、各科ごとに計画的、効率的に行われ報告・連絡・相談・調整がスムーズである。	3.3	○ 「学校教育法施行規則」第15条に定める備付表簿
				50 各種委員会が設置され、学校運営が能率的に行われるとともに、学校間の連携、共通理解に役立っている。	2.8	①関係法令
(4)教員研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育計画(研修) ○ 公開授業及び授業研究会実施報告書 	51 学科長は校務運営の要として教員に適切な指導・助言をするなど、校内の潤滑油として機能している。	3.3	②学則、日課表、学校日誌、教科書、図書配当表、学校医等執務記録簿		
		52 校務運営に必要な諸表簿の一覧と保存期間が定められており、文書管理・保存・改廃が適切に行われている。	4.2	③職員名簿、履歴書、出勤簿、担当学級、担当科目、時間割表		
		53 研修課題が年間計画に位置付けられ、研修の具体的な内容・方法等が明確にされて組織的な研修が行われている。	3.1	④学籍簿及び抄本、出席簿、健康診断表		
		54 公開授業および授業研究が組織的・計画的に行われ、関係教員の全員参加による研修体制が定着している。	2.5	⑤入学者選抜・成績考査に関する表簿		
		55 学園全体で行われる各種研修会には積極的な姿勢で参加し、その成長が教育活動に反映されている。	3	⑥教具目録(図書・機械器具・見本・模型等)、資産原簿、出納簿予・決算帳簿		
		56 初任者に対する研修が組織的・計画的に行われ、教員相互の支援体制が構築されている。	2.9	⑦往復文書処理簿		

		57 学外における研修会・研究会・学会等への参加やその機会が保証されており、その成果がその後の教育活動に反映されている。	3.5		
		58 研修実践の経過・成長や課題が報告書にまとめられ、その後の研修活動の深化に役立てられているとともに、研修活動の評価・反省が行われている。	3.1		
II 教 育 活 動	3、入学者選抜 (1)時期・会場・回数 (2)方法・システム	○ 教務規程(入学・卒業) ○ 「学校案内」 ○ 「募集要項」・「募集ガイド」 ○ 入試問題 ○ 入試委員会の業務内容 ○ 合否結果一覧 ○ 地方入試実施要領	59 求める人間像が明確であり、それにふさわしい学生募集方法、入学者選抜の時期、会場、回数等になっている。	3.5	○ 学則(入学) ○ 「学校案内」 ○ 「募集要項」・「募集ガイド」 ○ 入試問題 ○ 入試委員会の業務記録 ○ 合否結果一覧 ○ 地方入試実施要領書
			60 合否判定に当たっては、判定基準が明確であり、総合的な観点から客観的かつ公正に判定が行われている。	3.5	
			61 入学者選抜学力検査問題の科目や内容・形式、実施方法が客観性、妥当性、信頼性を満たし公正な委員会で作成・管理されている。	4.5	
	4、学生の状況 (1)入学生の状況 (2)在学生の状況 (3)進学・退学・留年の状況	○ 入学者数(性別・学科別・年齢別 学歴別・地域別) ○ 定員数・志願数・定員充足状況 ○ 在学者数(学科別・学年別・性別 年齢別・地域別) ○ 中途退学者数(学科別・学年別 ・性別・月別・理由別) ○ 進級状況(学科別・学年別・性別) ○ 留年者数(学科別・理由別)	62 各学科への志願状況は満足すべき状況である。	3.1	○ 各学科別出願状況 ○ 各学科別定員充足率 ○ 在学者数(学科別・学年別・性別・年齢別・学歴別・地域別) ○ 中途退学者数(学科別・学年別・性別・月別・理由別)・退学者報告書 ○ 進級状況(学科別・学年別) ○ 留年者数(理由別) ○ 休学者数(休学者報告書)
			63 各学科の定員充足率は満足すべき状況である。	2.7	
			64 各学科の中途退学者は極めて少ない状況である。	2.8	
			65 各学科の進級状況は満足すべきであり、留年者は極めて少ない状況である。	4.5	
	(4)学校行事 (5)校友会・ クラブ活動 (6)卒業生の状況	○ 学校行事一覧 ○ 学園本部行事一覧 ○ 学生の学外ボランティア活動 ○ 卒業生数・就職者数(学科別・ 性別・専門士の授与者数・分野 別就職者数・地域別・就職率) ○ 卒業生の学科別資格取得状況 (資格名称、合格率)	66 学校行事は年間計画に位置付けられ、学園全体との調和が取れている。	4.5	○ 各種行事の実施状況(江田島・三瓶研修、入学式、卒業式) ○ ボランティア活動の実施状況 ○ 卒業生の状況(専門士取得者数、就職率、就職分野、国家試験 合格状況、資格取得状況)
			67 学生が主体的に行う行事や特別活動が保証され、学校全体の教育活動に位置付けられている。	4.2	
			68 クラブ活動やボランティア活動が保証され、自主的な活動が活発に行われている。	2	
69 卒業生の就職(進学)率は満足すべきであり、国家試験の合格率や各種資格取得状況が極めて高い。			3.5		
5、社会人教育	○ 学則(付帯事業) ○ 生涯学習センター年間実施計画及び事業報告書	70 厚生労働省による再就職促進訓練や教育給付制度による委託訓練が年間を通じ計画的・組織的に実施され、成果をあげている。	-	○ 学則(付帯事業) ○ 生涯学習センター年間実施計画及び事業報告書 ○ 人的・物的資源提供の状況	
		71 学園主催の生涯学習講座が年間を通じ計画的・組織的に実施され、成果をあげている。	2		
		72 学園・学校は地域社会と密接に連携し、地域に開かれた公開講座や関連施設・設備を開放したり、出前授業等による人材の派遣を行うなどして地域に貢献している。	4.5		
III 福	1、学費支援制度 2、学生寮・食堂 3、カウンセリング 相談制度	○ 学費支援制度の周知状況 (学校案内・募集要項) ○ 奨学金の利用状況 ○ 休憩施設・食堂・学生寮・自販	73 各種奨学金制度が整備され、学生・保護者に十分周知されている。	4.6	○ 学費支援制度(学校案内・募集要項) ○ 奨学金貨与の状況 ①日本学生支援機構(第一種奨学生・きぼう21プラン) ②教育ローン
			74 校舎内に学生の休憩場所や関連施設が整備されており、自動販売機も設置されて、よく利用されている。	4.4	

利 厚 生		機の利用状況 ○ カウンセリングのための時間・場所の確保の実態 ○ 相談電話(メール)記録	75 学生用の食堂が整備されており、適切な価格とバラエティに富んだメニューで、よく利用されている。	-	○ 休憩施設・食堂・学生寮・自販機の利用状況 ○ 食堂のメニュー、味、価格調査	
			76 学生寮が整備されている。又は近隣の学生寮等と提携して、学生の利用に便宜が図られている。	4.1	○ カウンセリング実施記録簿	
IV 管 理 ・ 運 営 ・ 財 政	1、管理運営規則 (1)就業規則 (2)人事労務 人事考課 (3)防災・非難計画	○ 教職員採用基準 ○ 教職員服務規程 ○ 学園機構・学校組織一覧表 ○ 授業アンケート結果一覧 ○ 職能評価資料 ○ 人事考課資料 ○ 事務職員数(常勤・非常勤別・性別・年齢別・勤務年数)	77 服務規程は教職員の実態や要望を取入れ、適切に運用されている。	3.7	○ 教職員服務規程 ○ 学園機構・学校組織一覧表 ○ 授業アンケート結果一覧 ○ 出勤簿・勤務管理表 ○ 教育計画(防災・非難計画)	
			78 教職員の勤務時間や出勤・休暇・出張等の労務管理が適切に行われている。	4.4		
			79 学園・学校の職階制は業務遂行上円滑に作用しており、教職員の勤労意欲向上により影響を与えている。	3.1		
			80 多面評価による職能考課や学生アンケートの結果導入は人事考課に適切に反映されており、客観的かつ公正で、教職員の勤労意欲向上により影響を与えている。	3.1		
	2、事務組織と業務 (1)経理・財務・管財 (2)企画広報 (3)就職	○ 学園機構・学校組織一覧表 ○ 各種広報活動 ○ 情報開示機構(機関)規程 ○ 危機管理の状況 ○ 教育計画(危機管理体制)	81 学園・学校の組織・機構は教育法人としての教育活動を展開するにあたり、効率的かつ有効に機能している。	3.2		○ 学園機構・学校組織一覧表 ○ 各種広報活動(新聞・雑誌・学校訪問・ガイダンス・体験入学・学校見学会等の実施状況) ○ 各種パンフレット・リーフレット ①「学園案内」 ②「学校案内」 ③「募集要項」 ④「体験入学案内」 ○ 電話による対応数・ホームページへのアクセス数 ○ データ管理状況の実態 ○ 情報開示機構の内規 ○ 危機管理の状況
			82 学園・学校は積極的に広報・PR活動を展開して、知名度・信頼度の高揚に努め成果をあげている。	4.1		
			83 高校訪問にあたっては、関連資料等を活用し、効率的かつ積極的に実施している。	4.2		
			84 学園・学校が保有する個人情報については、その保存場所、保存方法、管理責任者が明確にされており、各種データの管理は組織的に一元化されている。	3.8		
			85 学園・学校は積極的に情報公開を行っているが、開示請求のあった事案については、公開すべき内容・方法について審議・決定する審議機関を設置し対応している。	3.1		
			86 さまざまな問題・事故発生に対する未然防止策、発生時の即応体制、事後処理体制など危機管理体制が確立しており、外部に対する窓口が一元化されて組織としての対応が可能である。	3.6		